

泥棒から家を守りましょう！

～ガラスの防犯対策などで泥棒をシャットアウト～



● 泥棒はどうやって家の中に入ってくる？

「窓ガラスを割ったり、無施錠の窓や玄関から入ってきます。」

一戸建て住宅における侵入盗の侵入手段の

約42%は「無締り」で、約36%は「ガラス破り」です。

(数値は平成29年中)

● ガラスを破られないためにはどうすればいい？

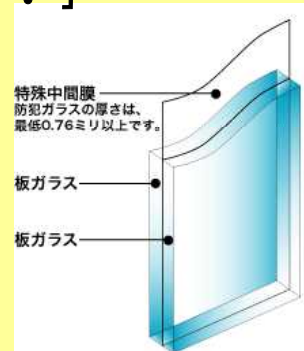
「防犯性能の高い建物部品目録」に掲載された

「防犯ガラスやウインドウフィルムが有効です！」

【防犯ガラス】

2枚以上のガラスの間に柔軟で強靱な中間膜を挟み、熱と圧力を加えて接着しており、打撃を加えても破片が飛散しにくく、加撃物が貫通しにくいガラスです。

※ **網入りガラスは、火災時のガラス割れ落ち防止には有効ですが、防犯性能は期待できません。**



防犯ガラスの構造

【ウインドウフィルム】

その多くが総厚^{マイクロメートル}350 μm (0.35mm) 以上のポリエステル製で、破れにくく、剥がれにくいフィルムです。

※ 「ガラスの露出部全面に貼付」や「施行時の十分な水抜き」などがなされていないと、本来の防犯性能が発揮されません。

防犯性能を発揮させるためには専門の施工業者に適切な施工を依頼する必要があります。

「防犯性能の高い建物部品目録」とは・・・

警察庁、国土交通省、経済産業省と建物部品関係の民間団体等で構成されている「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」では、一定の防犯性能があると評価した建物部品（防犯建物部品）を掲載した「防犯性能の高い建物部品目録」を公表しており、防犯建物部品の共通標章が「CPマーク」です。



【CPマーク】

泥棒は、侵入するのに5分以上の時間がかかる場合、約7割が侵入をあきらめると言われています。泥棒の攻撃に5分以上耐えうる防犯対策を！